

# 平成22年度一般会計予算・特別会計予算を審査 =予算審査特別委員会=

## アートの森整備に質問集中！

平成22年度一般会計予算および4特別会計予算は、議員全員による予算審査特別委員会を設置（平沢豊勝委員長・岩木雅徳副委員長）し、3月16日から18日まで3日間にわたり審査されました。審査における主な質疑は次のとおりです。

### 【総務費】

(質問) 開町記念式典の方法はどう考えているのか。また、各記念事業を所管する担当課は。

(答) 開町記念式典は、節目の年に当たるので、町民が自由に参加できる形を考えている。記念事業の担当課は次のとおり。

・記念植樹 5月30日  
(産業振興課)

・開町記念式典 6月20日  
(総務課)

・移住ウォーク 6月26日  
(教育委員会)

・健康しんとつかわ・みんなでラジオ体操 7月28日  
(教育委員会)

・復活！今年限りの町民運動会 8月8日  
(教育委員会)

・出張なんでも鑑定団inしんとつかわ 11月21日  
(総務課)

・タイムカプセル 11月21日  
(住民課)

(質問) 職員研修を、民間企業へ派遣するなど、見直ししてはどうか。

(答) 現在のやり方で継続する。

(質問) まちづくり人材育成

事業で、町が研修テーマを絞って派遣しているが、条件を緩和できないか。

(答) 個々の研修テーマについては、今後柔軟に対応する。

(質問) まちづくり基本条例啓蒙活動は、委員が行うとなつてはいるが、行政側が主体で行うべきではないか。

(答) 住民に対する説明は行政の責任であり、まちづくり懇談会等で啓蒙活動を行つていくが、策定委員の参加意向もあり配慮したい。

(質問) 交通死亡事故ゼロ1,500日達成に対する記念事業は実施するのか。

(答) 記念事業は特に計画していないが、周知活動は行う。

(質問) 地球温暖化防止が叫ばれる中、森林や町有林の大切さを現場を通してPRしては。

(答) 機会をみて、森林や造林についてのPRを進めていく。

(質問) 街路灯の数を少なくしたり、不要な街灯を消灯するなど、節電に努めては。

(答) 現在も防犯上の問題点を考慮しながら節電に努めている。今後は、街路灯組合と協議しながら進める。

### 【民生費】

(質問) 吉野園（明和会）が旧花月小跡地に移転するに当たり、町の負担もあると聞いている。今年度実施するのであれば、その費用はどこに計上されているのか。



吉野園移転先の旧花月小学校

(答) 移転構想は聞いているが、最終的な構想や予算的なものは見えていない。正式な移転計画が届いた段階で、町としてどの程度支援するか議会と相談し決定する。

(質問) 社会福祉協議会で職員を採用すると聞くが、人件費の一部を町が支援することは理解できる。そこで、その職員に対する支援は退職するまでなのか、年数的に制限を付けていくのか。

(答) 今年の3月で町からの派遣職員が退職する。後任者は協議会で正職員を採用して運営することになった。現在のところ公的な業務を担っているのので応分の支援をするが、年数の制限や覚書を交わすことは考えていない。

(質問) 本町の子ども手当の対象者数は。

(答) 子ども手当対象者数  
・小学生 553人  
・中学生 186人

(質問) 子ども夢基金について、平成22年度に2億円を積み立てることになっているが、23年度以降も積み増しているのか。また、積立目標額は設定しているのか。

(答) 平成22年度に2億円積み、今後の医療費の助成やきつずカード、「次世代育成支援行動計画」に基づくソフト事業を進める上で財源的に不足が生じた場合に活用する。医療費の助成などに必要な一般財源は年間約2千万円必要であり、今後10年間は対応できない。今後、次世代育成支援行動計画の中で、事業の拡大や新規事業も考えられるので、状況を見ながら必要額を増やし増やしていきたい。